

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第1部門第2区分  
【発行日】令和7年4月1日(2025.4.1)

【公開番号】特開2023-143392(P2023-143392A)  
【公開日】令和5年10月6日(2023.10.6)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-189  
【出願番号】特願2022-50730(P2022-50730)  
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】  
【提出日】令和7年3月22日(2025.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

画像を表示可能な表示画面と、

前記表示画面の前方に配置され、初期位置と演出位置とに移動可能な演出部材と、  
遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かの判定を行う判定手段と、  
演出を制御する演出制御手段と、を備え、

前記演出部材が前記演出位置に配置された状態の方が、前記演出部材が前記初期位置に  
配置された状態よりも、前記演出部材が前記表示画面と重なる領域が広く、  
前記演出制御手段は、

30

所定条件が成立したことに応じて、前記演出部材を前記初期位置から前記演出位置に移動  
させ、その後、前記演出部材を前記演出位置から前記初期位置に移動させる移動制御を  
実行可能であり、

前記表示画面に表示される画像には、第1の画像と、当該第1の画像とは異なる第2の画  
像と、があり、

前記演出制御手段は、

前記移動制御によって前記演出部材を前記演出位置から前記初期位置に移動させる間に、  
前記第1の画像を前記表示画面に表示しているときと、前記第2の画像を前記表示画面に  
表示しているときと、がある、ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

40

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

50

本発明の目的は演出部材を適切に移動させることが可能な遊技機を提供することにある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

請求項1に記載の遊技機は、画像を表示可能な表示画面と、前記表示画面の前方に配置され、初期位置と演出位置とに移動可能な演出部材と、遊技者に有利な特別遊技を実行するか否かの判定を行う判定手段と、演出を制御する演出制御手段と、を備え、前記演出部材が前記演出位置に配置された状態の方が、前記演出部材が前記初期位置に配置された状態よりも、前記演出部材が前記表示画面と重なる領域が広く、前記演出制御手段は、所定条件が成立したことに応じて、前記演出部材を前記初期位置から前記演出位置に移動させ、その後、前記演出部材を前記演出位置から前記初期位置に移動させる移動制御を実行可能であり、前記表示画面に表示される画像には、第1の画像と、当該第1の画像とは異なる第2の画像と、があり、前記演出制御手段は、前記移動制御によって前記演出部材を前記演出位置から前記初期位置に移動させる間に、前記第1の画像を前記表示画面に表示しているときと、前記第2の画像を前記表示画面に表示しているときと、がある、ところに特徴を有する。

10

20

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明によれば、演出部材を適切に移動させることが可能である。

30

40

50